

「こども育む くらし楽しむ
みらいに躍動する魁のまち・水戸」
を目指して



水戸市の概要

令和7年度市政モニター会議

2025年4月25日

水戸市 市長公室政策企画課



CONTENTS

CHAPTER 1 水戸市のあゆみ

CHAPTER 2 総合計画とは

CHAPTER 3 水戸市の現状

CHAPTER 4 水戸市第7次総合計画



CONTENTS

CHAPTER 1 水戸市のあゆみ

CHAPTER 2 総合計画とは

CHAPTER 3 水戸市の現状

CHAPTER 4 水戸市第7次総合計画



◆ 水戸市のあゆみ

水戸徳川家

初代藩主 徳川頼房公

水戸の城下町の大改修

第2代藩主 徳川光圀公

笠原水道の開設、大日本史の編さん、学問の奨励

第9代藩主 徳川斉昭公

「一張一弛」の考えの下、弘道館・偕楽園の開設



◆ 水戸市のあゆみ

市制施行

明治22(1889)年4月1日、横浜市などの30市とともに、**日本で初めて「市」**となった。

面積 6.17km²

人口 25,591人

明治23年の市庁舎→





◆ 水戸市のあゆみ

市域の変遷

昭和8～33年

明治22年
市制施行時
6.17km²

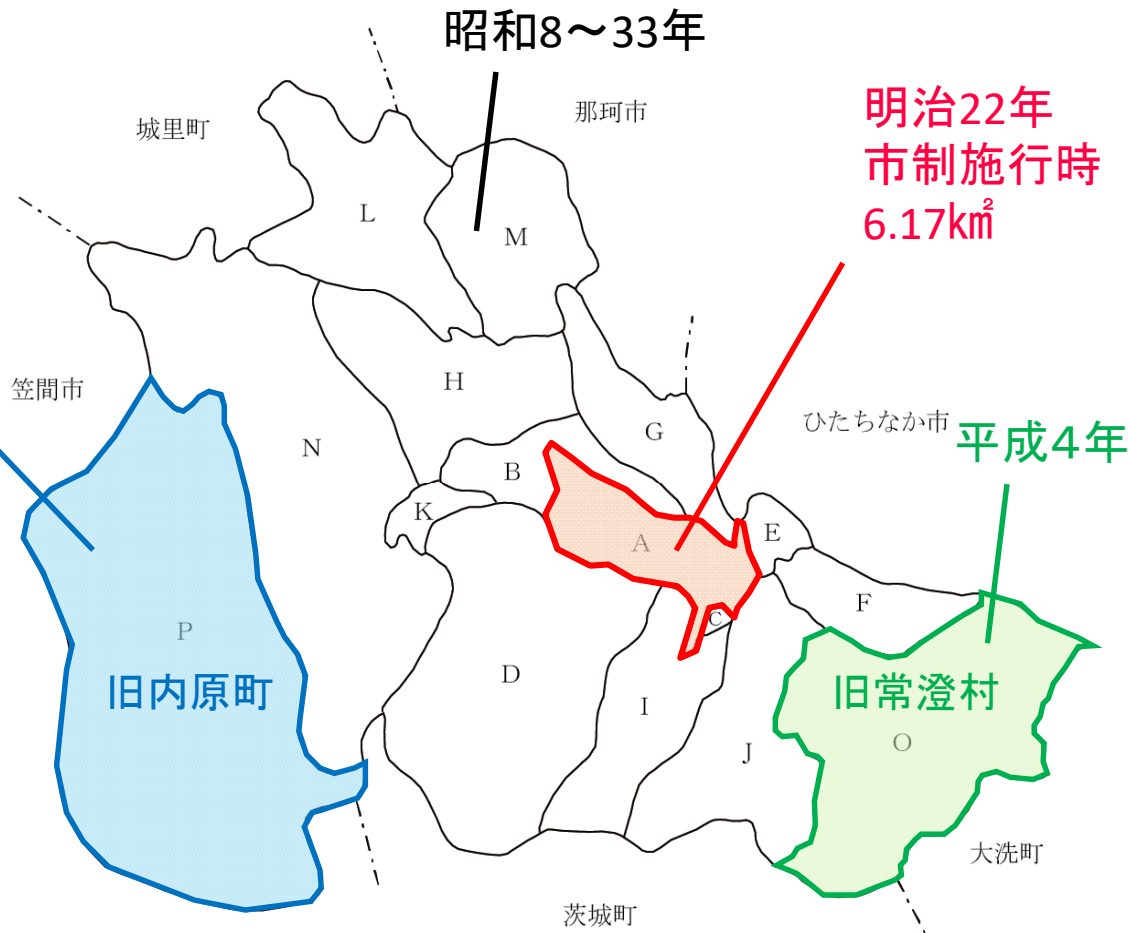
平成17年

平成4年

《令和6年10月》

面積 217.32km²

人口 266,965人





◆ 水戸市のあゆみ

中核市移行

令和2年4月に**県内では初の中核市**

中核市移行で見込まれる市民サービスの向上

- 1 特色ある施策の展開
- 2 健康危機への迅速な対応
- 3 窓口の一元化
- 4 事務処理の効率化

保健衛生分野を中心に
約2,600項目の事務を
県に代わって行う



CONTENTS

CHAPTER 1 水戸市のあゆみ

CHAPTER 2 総合計画とは

CHAPTER 3 水戸市の現状

CHAPTER 4 水戸市第7次総合計画



◆ 総合計画とは

まちづくりの基本方針となる

水戸市における**最上位計画**

もともとは…地方自治法で基本構想の策定義務

「市町村は、その事務を処理するに当たっては、議会の議決を経てその地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想を定め、これに即して行うようにしなければならない。」

⇒平成23年の法改正で**削除**

地方分権
地方創生



◆ 総合計画とは

まちづくりの基本方針となる

水戸市における**最上位計画**

- 目的(目指す姿)
- 目標(目指す水準)
- それを実現する手段(政策、施策)

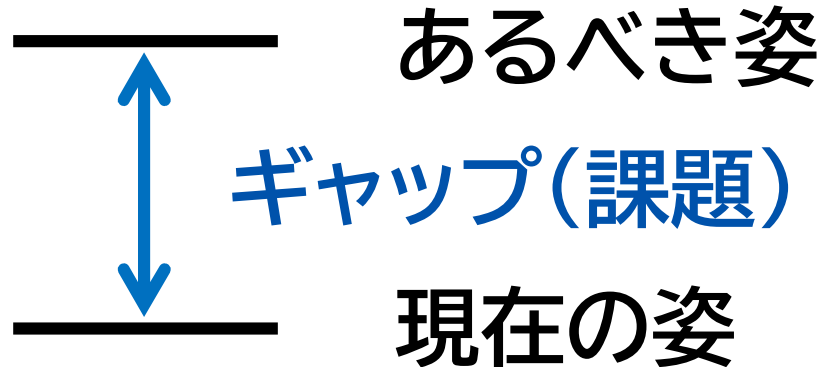
市民との**協働**のもと、**計画的**に行政運営



◆ 総合計画とは

そもそも「まちづくり」とは

まちが抱えている「課題」を解決し、
「あるべき姿」を目指すこと



適切な目標設定
と
現状把握



CONTENTS

CHAPTER 1 水戸市のあゆみ

CHAPTER 2 総合計画とは

CHAPTER 3 水戸市の現状

CHAPTER 4 水戸市第7次総合計画



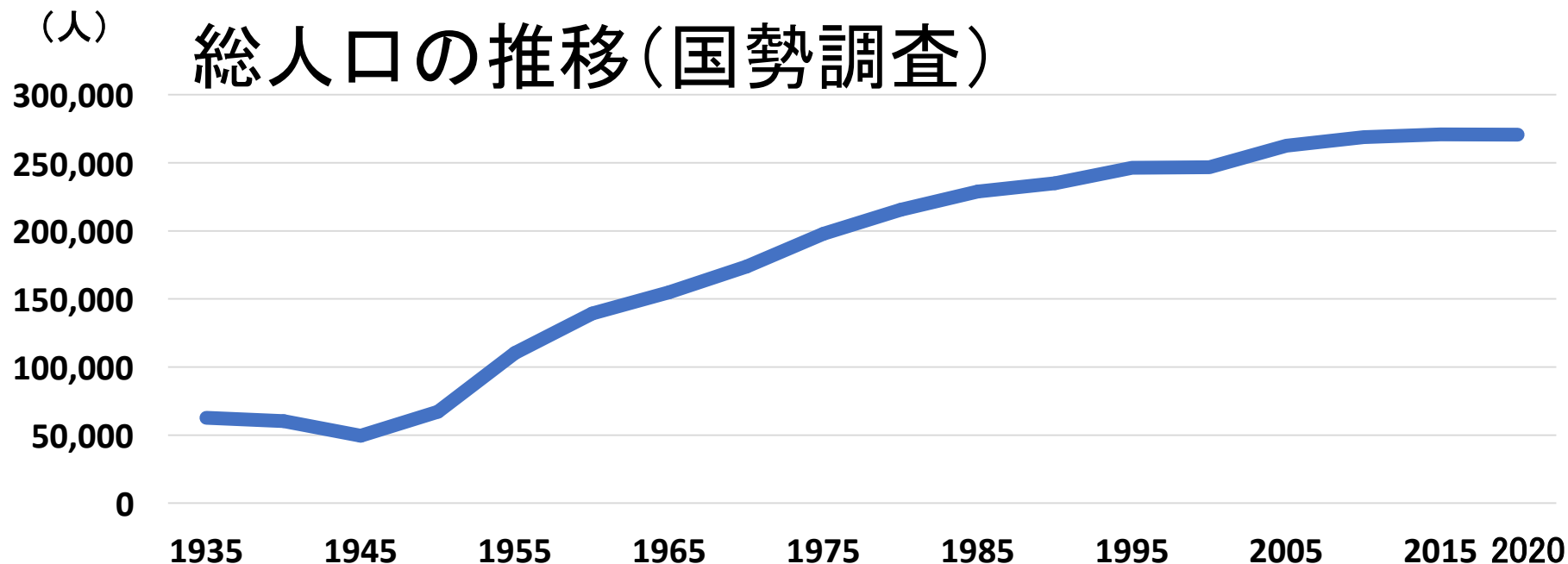
◆ 水戸市の現状

現状と取組

- ▶ 人口（推移、特徴など）
- ▶ 人口減少社会を迎えての取組
- ▶ 市民意向の把握



◆ 水戸市の現状(人口)



2015年10月1日 270,783人

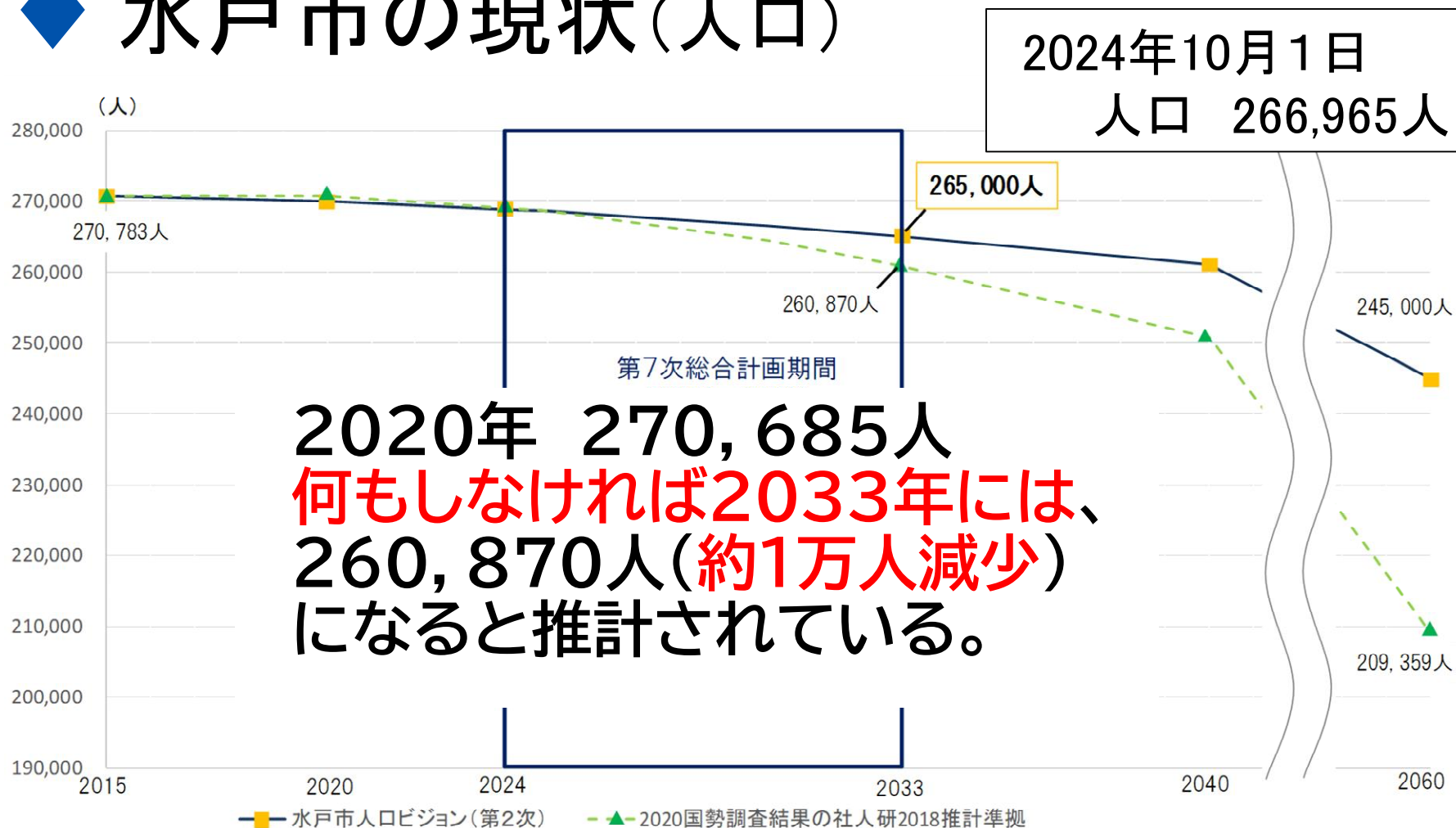
2020年10月1日 270,685人



98人減少



◆ 水戸市の現状(人口)





◆ 水戸市の現状(人口)

30年間の変化
少子化、高齢化の進行

	1990年	2020年
年少人口 (0～14歳)	 45,471人	 33,685人
生産年齢人口 (15～64歳)	 163,764人	 158,472人
高齢者人口 (65歳以上)	 24,301人	 70,922人



◆ 水戸市の現状(人口)

人口の特徴①…人口集積

水戸市の人口 270,685人 (令和2年)

茨城県の人口 2,867,009人 (令和2年)

水戸市の人口集積率は**約9.4%**で、
県庁所在都市としては、**全国で最も低い**

茨城県は平地が多く、可住面積が広い
⇒ 人口が分散しやすい。



◆ 水戸市の現状(人口)

人口の特徴②…昼間人口

昼間人口 297,839人 (令和2年)

夜間人口 270,685人 (令和2年)

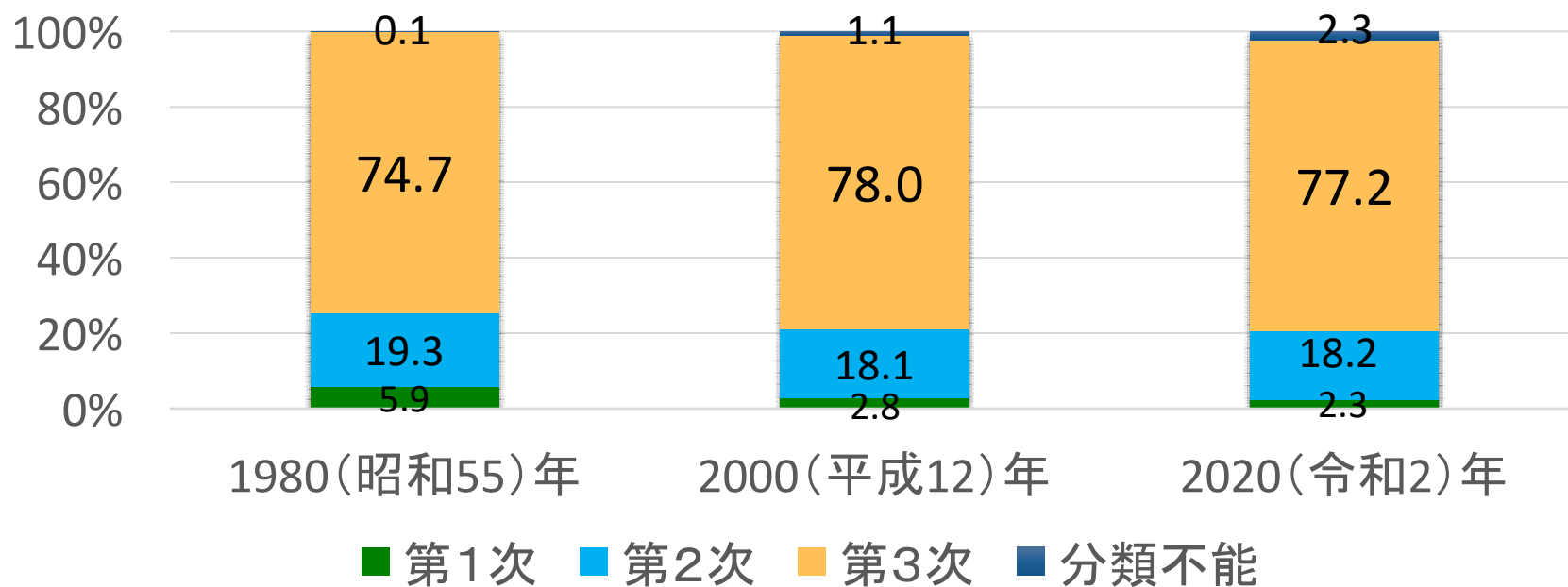
昼夜間人口比率は約109.2%で、
県庁所在都市としては、全国で6番目に高い

通勤・通学により昼間の流入人口が多い
⇒ 拠点性・中枢性が高い



◆ 水戸市の現状(人口)

人口の特徴③…産業別人口



第1次産業の減少、第3次産業の伸び



◆ 水戸市の現状（人口減少社会での取組）

人口減少、高齢化がもたらすもの

- 1 地域生活への影響
 - (1) 商業施設, 医療施設, 公共交通の縮小
 - (2) 地域コミュニティの衰退
- 2 地域経済への影響
 - (1) 個人消費の縮小
 - (2) 労働力の低下
- 3 行政への影響
 - (1) 市税収入の減少
 - (2) 社会保障費の増加
 - (3) 行政サービスの低下

人口減少を
最大限抑制
していく必要がある



◆ 水戸市の現状（人口減少社会での取組）

安心して子どもを生み育てることのできる環境

保育所待機児童 158人（平成27年4月）



1人（令和5年4月～）

平成23年以降、公立・民間の保育所を整備
定員を**3,300人以上拡大**

一方、最近は、**潜在的待機児童**が増加



◆ 水戸市の現状（人口減少社会での取組）

地域経済の活性化

企業誘致・創業支援
にぎわいの創出

東町運動公園新体育館



水戸市民会館

2023年7月開館
総事業費 195.2億円

開館10か月
100万人来館

2019年完成
総事業費 95.7億円

国体会場
茨城ロボッツ



◆ 水戸市の現状（人口減少社会での取組）

移住・定住の促進

魅力の発信
移住支援
移住体験



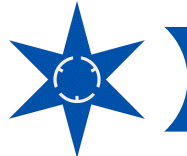


◆ 水戸市の現状(市民意向)

市民1万人アンケートの概要

- 1 調査対象 水戸市在住の満15歳以上の個人
- 2 調査期間 2022年5月12日～5月31日
- 3 対象人数 10,002人
- 4 回収結果

配布数 (A)	回収数	有効回収数 (B)	有効回収率 (B/A)
10,002	4,991	4,978	49.8%



市民1万人アンケートの概要

40歳台以下では、「安心して子どもを
生み育てられるまち」になってほしい
という声が多かった。

Q 水戸市の目指す姿

今後、水戸市がどのようなまちを目指していくのが望ましい
と考えるか、17項目から3つまで選んでいただきました。

		全体の順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
		医療が充実し、健 康に暮らせるまち	福祉(高齢福祉や障 害福祉など)が充実 しているまち	安心して子どもを 生み育てることが できるまち	都市中枢機能が集 積した活気あふれ るまち	災害に強い安全な まち
各 年 齢 層 の 順 位	15歳～19歳	—	—	1位	3位	4位
	20歳台	2位	—	1位	3位	5位
	30歳台	2位	—	1位	4位	5位
	40歳台	2位	4位	1位	3位	5位
	50歳台	2位	1位	5位	(3位)	(3位)
	60歳台	2位	1位	3位	5位	4位
	70歳台	2位	1位	5位	4位	3位
	80歳以上	2位	1位	4位	5位	3位

※()は同率。



CONTENTS

CHAPTER 1 水戸市のあゆみ

CHAPTER 2 総合計画とは

CHAPTER 3 水戸市の現状

CHAPTER 4 水戸市第7次総合計画



◆ 水戸市第7次総合計画

基本構想:2024～
2033年度(10年間)

ーみと魁・Nextプランー

都市づくりの基本的な考え方

「将来にわたって発展し、暮らしたいと思える都市」
の実現に向けて…

未来を創る
「こどもたち」の育成

三つの取組の
好循環をつくりだす

豊かな暮らしを実現する
「経済発展」

「安心」して
暮らせる環境



◆ 水戸市第7次総合計画

三つの基本理念

水戸の未来をリードする
「こどもたち」を育むまちをつくる

[目指すべき都市づくりの方向]

自ら学び、行動するこどもたちの主体性を大切にしながら、水戸の未来をリードするこどもたちをまち全体で育み、若い世代に選ばれるまちを目指します。

[個性と魅力を伸ばす取組の方向]

- ・全国に魅ける安心してこどもを生み育てやすい環境づくり
- ・教育機関が集積する強みを生かした水戸ならではの魅力ある教育の推進



◆ 水戸市第7次総合計画

三つの基本理念

市民の豊かな暮らしを実現できる
「経済発展」するまちをつくる

[目指すべき都市づくりの方向]

地域の資源や特性を生かし、持続的な都市の成長、市民の豊かな暮らしを実現できる経済が発展する先進的なまちを目指します。

[個性と魅力を伸ばす取組の方向]

- ・水戸ならではの歴史、芸術・文化を生かした、にぎわいづくり・産業振興，働く場の創出
- ・陸・海・空のネットワークを生かした、手軽に移動でき，活動しやすい環境による産業振興



◆ 水戸市第7次総合計画

三つの基本理念

誰もが生き生きと暮らせる
「安心」できるまちをつくる

[目指すべき都市づくりの方向]

時代の課題に的確に対応しながら、誰もが生き生きと暮らせる、安心を実感できるまちを目指します。

[個性と魅力を伸ばす取組の方向]

- ・ 健康づくり、医療、福祉などの充実
- ・ 災害に強い地域環境づくり
- ・ ゼロカーボンに取り組む環境づくり
- ・ 誰もがデジタル化の恩恵を享受できる環境づくり



◆ 水戸市第7次総合計画

将来都市像(水戸市のあるべき姿)

こども育む くらし楽しむ

みらいに躍動する 魁のまち・水戸



◆ 水戸市第7次総合計画

人口と経済の展望

目標人口（2033年度）

265, 000人

⇒ 若い世代から選ばれる都市づくりに
取り組み、**人口減少を最大限抑える**

※ 270, 685人（2020年）から**何もしなければ**
260, 870人まで**減少する**と推計されている



◆ 水戸市第7次総合計画

人口と経済の展望

にぎわい交流人口 **710万人** (2033年度)
まちなか交流人口 **170万人** (2033年度)

⇒ 交流人口の増加により**新たな活力、
にぎわいを創出し、経済効果を高めていく**



◆ 水戸市第7次総合計画

前期基本計画(2028年度まで)

400を超える施策
を位置付け

こどもたちを育むみと

子育て世帯
にやさしい

個性を伸ばす
教育

活力あるみと

生き生き
働く

まちなか
活性化

安全・安心なみと

一人一人の
健康づくり

地域の支えあい
助けあい

交通安全
防犯

日頃からの
災害への備え

市民と共に創るみと

CO₂削減
地球温暖化対策

平和活動
国際交流

芸術文化
スポーツ

生活を豊かに
デジタル化



◆ 水戸市第7次総合計画

重点プロジェクト

- ・水戸の個性と魅力を伸ばし、
水戸ならではの特色を打ち出す
- ・横断的な推進体制のもとで、
優先的かつ集中的に取り組む

Mission1 みとっこ未来プロジェクト

Mission2 若い世代の移住・定住
加速プロジェクト



◆ 水戸市第7次総合計画

1 みとっこ未来プロジェクト

戦略的な取組

① **経済的負担**の軽減

（保育料、小中学校の給食費、医療費）

② **相談・支援**の充実

（寄り添い支援、放課後の居場所づくり）

③ **こどもが活動しやすい環境**づくり

（体験、遊び場の充実、主体性の尊重）



◆ 水戸市第7次総合計画

2 若い世代の移住・定住加速プロジェクト

戦略的な取組

- ①若い世代が魅力を感じる**多様な働く場**の創出
(創業・スタートアップ支援、企業誘致)
- ②若い世代に届く**シティプロモーション**の充実
(高校生・大学生等から声を聴く機会、
まちづくりプレイヤーの活動支援)



Mito city

ご清聴ありがとうございました。

総合計画はこちら

→ <https://www.city.mito.lg.jp/page/69724.html>

